

第八十一回
帝國議會
貴族院

帝國鑛業開發株式會社法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十八年二月一日(月曜日)午後三時三十分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ヨリ委員會議ヲ開催致シマス、先ヅ帝國鑛業開發株式會社法中改正法律案、此ノ方カラシテ御質疑ヲ願ヒマス

○倉知鐵吉君 國策ノ線ニ伴ッテ、産金業者ガ不測ノ損害ヲ蒙ルコトハ已ムヲ得ヌコトト思ヒマスガ、之ニ付キマシテハ帝國鑛業開發株式會社ヲシテ補償ヲ交付セシメテ、其ノ補償交付シテ開發會社ニ對シテ、豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ要スル件ノ中ニアル帝國鑛業開發株式會社損失補償金ノ條項ニ依ッテ又補償ヲ與ヘラレルト云フコトハ、先達テ推名次官カラ御説明ガアリマシタガ、チヨット此ノ順序ガ分ラ

ナイノデスガ、此ノ法律案ガ發布施行ニナリマス云フト、産金會社ハ損失ノ補償ヲ何處カヘ申出スノダラウト思ヒマス、申出タモノヲ開發會社ガ集メテ補償金ヲ交付シテ、更ニ今度政府ノ方ヘ追及シテ來ルト云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、其ノ順序ハドウナルノデアリマスカ、例ヘバ此ノ法律ノ中ニ産金會社ノ損失ニ對シテハ帝國鑛業開發株式會社ヲシテ補償セシムルト云フ規定デモアリマスレバ、ソレニ依ッテ動キマスルガ、此ノ法律ガ發布サレルト、諸テ政府ハドウ云フ命令ヲ何處ヘ御出シニナッテ、ソレカラドウ云フ風ニ動イテ行クト云フ順序ガ分ラナイノデスガ、コ、ヲ分ルヤウニ説明シテ戴キタイ

○政府委員(推名悦三郎君) 只今ノ御質疑ニ對シマシテ御答ヘ致シマス、帝國鑛業開發株式會社ガ廢止スル金山ヲ買収スル譯デアリマス、サウシテ買収致シマシテ、其ノ買収シタ設備等ヲ他ニ賣却スルトカ、其ノ他ノ活用スベキモノハ活用スル、サウシテ其ノ差引損失ガ生ジマス、其ノ損失ヲ政府ガ補償スル、斯ウ云フ順序ニナッテ居リマス、ソレニ依ッテ生ズル鑛發ノ損失ヲ政府ガ補償スル譯デス

○倉知鐵吉君 チヨット分リ兼ねマスガ、例ヲ以テ申上ゲマスルト、茲ニ産金會社ガ内地ニアリマシテ、ソレガ産金事業ヲヤッテ居タノデス、處ガ政府ノ獎勵ガアッタ當時ニハ、「ホーセンテージ」モ一體ナラヤリタクナイ部分デハアルガ、政府ノ御獎勵モアルト云フノデ、此ノ望マザル部分、即チ別ノ山ヲ開發シタヤウナ場合ガアリマス、處ガ今度重點主義ノ關係ガ違フモノダカラ、後ニ開發シタヤウハ全部廢メルトコトニシテ、併シ元ヤッテ居タ所ハヤッテ居タイ、サウ云フ時ハドウナルノデスカ、從ッテ買収ニハ應ジマセヌ、元ノ方ハ買収ニ應ズル意思ハナイノデス、今産金獎勵ノ趣旨ニ依ッテ擴張シタ部分ダケヲ廢メタル時ハドウナルカト云フコトガチヨット分ラナイノデアリマス

○政府委員(推名悦三郎君) 矢張り同ジコトデアリマシテ、其ノ元ノヤツガ残り得ルカドウカハ別問題トシマシテ、業者ノ希望トシテハ一應分割シテ新シク開發シタヤツヲ廢メタイ、サウ云フ御希望ガアレバ、其

ノ旨ヲ申出テ、サウシテ帝國鑛發ニ於テ之ヲ買取ル譯デアリマス、資産ヲ評價シマシテ、坑道デアルトカ、或ハ設備デアルトカ、色々ナ施設ヲ總體的ニ之ヲ評價致シマシテ、サウシテ適當ノ値段ヲ買取ル、矢張り同ジ方法デアマ進ンデ行クコトニナリマス

○倉知鐵吉君 ソレデアマ其ノ一部買収ノ所ハ分リマシタガ、是ハ國家ガ一體國策ノ變更ニ伴ウテ損失ヲ補償スル意味ダカラ、開發會社ガ恩惠デ産金會社ニ金ヲ與レテヤル意味デハナカラウト思フノデアリマス、ソコデ産金會社デ希望スルモノハ申出セト云フコトヲ何所カ政府カナンカラ公布サレナケレバ動イテ來ナイヤウニ思フガ、其處ノ順序ハドウナリマスカ

○政府委員(推名悦三郎君) ソレハ鑛山統制會社ヲ通ジテ業界ニ示達シタイト思ッテ居リマス

○倉知鐵吉君 サウシマス統制會社ヲ經テ、産金會社ニシテ増産計畫ニ關聯シテ損失ヲ蒙ッタモノガアレバ、何時迄ニ帝國鑛業株式會社ノ方ヘ其ノ事ヲ申出デロト云フコトヲ各業者ニ通ジテ戴ク譯デスナ、各業者ハソレニ應ジテ開發會社ニ申出デタル、斯ウ云フコトニナルノデスカ、ソレカラ今度ハ金額デスガ、其ノ金額ノ協定ノ纏ラヌ時ハ商工大臣ガ之ヲ裁定スルトカ、或ハ政府ノドノ機關力ガ之ヲ決メルト云フコトガアリマスカ

○政府委員(推名悦三郎君) 評價ノ問題ハ、實際問題トシテナカクムヅカシイ問題デゴザイマス、ソレデ只今私共考ヘテ居ル所デハ、官民ノ關係ノ人々デ以テ評價委員會ヲ組織シマシテ其處デ大體評價ノ基準ヲ協議シ、ソレヲ如何ニ實際問題トシテ適用スルカト云フコトヲ時々其處ニ掛ケマシテ、サウシテ評價ノ適正ヲ期シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○倉知鐵吉君 評價委員ナルモノハ政府ガ任命サレルノデスカ、鑛業開發會社ガ自分ノ機關トシテ作ルノデスカ

○政府委員(推名悦三郎君) 政府ノ方カラ委囑シテ御願ヒシタイト考ヘテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 此ノ帝國鑛業開發株式會社法中改正法律案ノ改正ノ要點ハ、誠ニ簡單ノヤウニ思ハレルノデアリマスルガ、一ツハ産金振興株式會社ヲ合併スルコト、鑛業及製鍊業ノ整備ヲ促進スル爲ト云フ二點ノヤウニ思ハレマシテ、改正本案其ノモノハ誠ニ簡單ナ譯デアリマス、只今倉知委員カラ御質問ノアッタヤウナ條項ナドガ寧ロ問題ニナルノデハナイカト私ハ思フガ、此ノ法案ノ附則中ニ「政府必要アリト認ムルトキハ帝國鑛業開發株式會社及日本産金振興株式會社ニ對シ日本産金振興株式會社ヲ帝國鑛業開發株式會社ニ合併スベキコトヲ命ズルコトヲ得」トアリ、其ノ次ニ「前項ノ規定ニ依ル合併ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、此ノ法案ヲ見マシテ此ノ際御質問シテ置キタイ、本案ニ關スル點ニ付キマシテハ、其ノ内容ハ必ズシモ此ノ際承知シナクテモ、産金振興合併ノ場合ニ「必要ナル事項ハ勅令ヲ以

テ之ヲ定ム、眞ノ「必要ナル事項」トハ、ドウ云フヤウナ點デアルカト云フコトヲ承知出來レバ仕合セダと思ヒマス

○政府委員(津田廣君) 此ノ附則ノ第三項ニ於キマシテ、日本產金振興株式會社ヲ帝國鑛業開發株式會社ニ合併スベキコトヲ命ズルト云フ規定ガゴザイマスルガ、是ハ萬一兩社ノ合併ト云フコトガ話合ヒノ上デ進行シナイト云フヤウナコトガアリマシタ場合ノ用心ノ規定ト致シマシテ、斯ウ云フ規定ガ設ケラレテ居ル譯デゴザイマスルガ、幸ヒニシテ兩社ノ各、株主總會ニ於キマシテ、此ノ兩社ハ合併スルノガ適當デアルト云フ、合併契約ヲ既ニ取交ハシマシテ、其ノ合併契約ノ承認總會モ去ル一月二十二日ニ行ハレマシタノデ、既ニ第三項ノ規定並ニ四項ノ規定ハ不用ノ形ニ相成ッテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 分リマシタ、最近ドウモ國策會社ノ評判モ面白クナイウヤニ世間デ言ハレテ居リマスルノデアリマスルガ、此ノ合併セラルベキ日本產金振興株式會社ハ創立以來四年ニナリマス、大體一應御報告書面モアリマシテ、數字的ニハ極クアラマシ承知出來マスノデアリマス、此ノ產金振興株式會社ヲ合併シタ後ノ帝國鑛業株式會社ノ財産狀態ガドウナルカト申シマスルノハ、結局今度合併セラル、產金振興會社ノ財産ノ内容等モ非常ニ影響ガアルデヤナイカト思ヒマス、チヨット調書ヲ拜見致シマシモテ相當ノ多額ノ貸付金モアリマスルノデ、之ヲ伺ヒマスノハ今後帝國鑛業株式會社ノ事業ノ經營上、又其ノ成績ノ上ニ非常ニ禍ヲナスヤウナコトガアルカナイカト云フコトヲ心配シテノ質問デアリマス、巨額ノ貸付金ノ中ニハ不良貸付ト申シマスルカ、其ノ整理ヲ

必要トスルモノモアリハシナイカト思フノデアリマス、又此ノ度ノ政府ノ御方針デ產金事業ノ整備ノ結果、從來ヤツテ居タ產金振興會社ノ事業ヲ廢止スルモノガ相當ニ多イデヤナイカト、サウ云フ關係デ今度合併ニ先立ッテサウ云フヤウナ不良貸付ト見ラレルヤウナ債權ニ對シテハ、此ノ際整理ヲサレルノデアリマスルカ、又產金事業ヲ整理シテドウ云フヤウナ結果ヲ開發會社ニ及ボシマスルカ、其ノ邊ノコトハ或ハ速記ヲ止メテデモ結構デアリマスルガ、此ノ際御示シテ願ッタラ結構ダと思ヒマス

○政府委員(椎名悅三郎君) 御手許ニ差上ガテアルと思ヒマスガ、日本產金ガ各金山ニ貸付ケテ居ル金額ノ總額ガ二億千何ガシゴザイマス、ソレガ其ノ債權トシテ帝國鑛業ノ方ニ引繼グコトニナリマス、適當ノ機會ヲ見テ帝國鑛業ノ手許ニ於テ之ヲ始末スルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、別ニ其ノ爲ニ合併後ノ帝國鑛業ノ財政ノ基礎ヲ搖ガシ、ソレヲ危殆ナラシメルト云フヤウナ程度迄ニハマダ考ヘテ居リマセス

○男爵伊藤文吉君 今政府委員ノ御答辯ノヤウニナレバ甚ダ結構デアルト思ヒマスガ、或ハ二億數千萬圓ノ貸付金ノ中ニハ、元金ハ固ヨリ利子モ納メラレナイヤウナモノモアルカモ知レナイヤウニ私共ハ存ズルノデアリマス、從ッテ或時期ニ整理シナケレバ、帝國鑛業會社ノ經理狀態モ良ク行カナイト云フヤウニ豫想セラレルヤウニ思フノデアリマス、ソレモ大キナ問題デアリマスルガ、モウ一ツハ鑛業及製鍊業ノ整備ト云フコトガ此ノ改正ノ目標デアリマス、從ッテ先程倉知委員ノ御質問ノ中ニアリマシタヤウニ、相當多數ノ弱體金山ト申シマスルカ、多數

ノ金山ヲ帝國鑛業デ買收スル、整理ノ爲ニ買上ゲル、此ノ資金ノ用途ト云フモノハドウ云フコトニナリマスルカ、其ノ用途又ハ凡ソ金額ノ豫想、而モ其ノ買上ゲタル山ハ此ノ度ノ鑛業超重點主義デ恐ラク廢山ト申シマス、休山ニナルモノモゴザイマセウガ、利益ヲ產マナイ狀態ニナル、サウ云フ風ニナリマスルト債權關係ニ於テモ非常ナ重大ナ負擔ヲ受ケ、又休山廢山スルヤウナ金山モ多數買ハネバナラス帝國鑛業株式會社ハ、其ノ財産狀態ガ非常ニ惡化シハシナイカ、從ッテ國家ノ補償額モ龐大ナ額ニナルヤウナ處ハナイカ、其ノ邊ヲ一休……

○政府委員(椎名悅三郎君) 仕山スベキ金山ハ相當出テ參ルト思ヒマス、只今ノ所先般開議決定モ致シマシタガ、他ノ非鐵金屬ヲ隨伴スルヤウナ金山、ソレカラ銅製鍊ニ使ヒマス、硫酸鹽ト一緒ニ出ル金山、サウ云フモノハ此ノ際殘シマシテ、爾餘ノ金山ハ之ヲ悉ク廢止或ハ休止セシメル外ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、金ノ需要等トモ睨ミ合セマシテ大體其ノ程度ノ整理ヲシナケレバナラス、又シテモ困ラヌト云フ結論ガ出テ居リマス、相當ノ強化サレタ整理ニナルト思ヒマス、サウ云フモノヲ抱ヘ込シテ、帝國鑛業トシテハ相當ニ此ノ始末ノ爲ニ資金上ノ困難ヲ嘗メナケレバナラスデハナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ一應帝國鑛業ニ取扱ハセマスガ、其ノ由ッテ生ズル損失ハ國家ニ於テ全部補償スル、既ニ今度ノ議會ニモ提案シテゴザイマスガ、一億圓ノ限度トシテ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ締結致シマシテ、之ヲ以テ損失ノ補償ニ充デルト云フ積リデゴザイマス、果シテ一億デ足りルカドウカト云フコトニ

對シテハ色々見方モゴザイマスガ、或ハ足りナイカモ知レヌ、或ハ足りルカモ知レヌセスケレドモ、若シ足りナイ場合ニハ更ニ大藏省ト折衝シマシテ其ノ額ヲ増加シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 損失補償ト言ハレルノデアリマスガ、此ノ場合ハ先ヅ大部分ハ全額損失ト申シマスルカ、硫酸鹽ノヤウナ必要ノ關係デ少シ殘ル山ハアリマセウガ、是ハ極ク少數デハナイカト思ヒマス、殊ニ此ノ弱體金山ヲ多數買收セラレル、サウスルト其ノ買收費ト云フモノハ、今ノ一億圓ノ損失補償ト云フコトデナシニ、是ハ殆ド全部ガ損失ニナルト見込シ宜イデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ風ニ帝國鑛業開發ガ政府ノ出サレル金デ山ヲ買ッテ整理シタト云フコトニナリマスレバ、其ノ山ハ休ンデ居ッテ利益ヲ產マナクテモ財政狀態ハ惡クナラヌノデアリマスルガ、是ハ帝國鑛業開發ノ自體ノ金モ出シテ、其ノ或部分デ國ガ出スト云フコトニナリマスルカ、此ノ度ノ場合ニハ買ッタ金山ハモウ動カナイノデアリマスカラ、何所迄モ不良ナ財産トシテ殘ル虞ガアル、此ノ場合ニ於テハ廢止休山スルハ政府ノ出サレル金デ全部賄フト云フ御考デアルノデアリマス、其ノ點ヲ一ツ……

○政府委員(椎名悅三郎君) 是ハ帝國鑛業トシテハ殆ド金ノ整理ニ依ル後始末デアリマスカラ、政府ノ命令ノ事業ト致シマシテ、特別會計ヲ會社内ニ設定シマシテ、其所デ從來ノ鑛業開發會社ノ本來ノ仕事ノ經理トハ分類致シマシテ、別途ノ計算ニ於テ之ヲ扱ハシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 マア其ノ問題ハソレ位

ニシテ、此ノ度日本産金振興會社ガ帝國礦業開發會社ニ合併サレコトハ非常ナ變革デアリマスガ、是迄ノ大體ノ營業ノ成績ハドウナツテ居リマスカ、下ノ位ノ政府ノ補償デヤツテ居ルカ、業績ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(津田廣君) 帝國礦業開發株式會社ハ、每期ノ收支ニ於キマシテ赤字ガ出マスト國カラ補給金ヲ受ケテヤツテ參ッタ譯デアリマスルガ、今日迄每期政府カラ配當補給金トシテ補給金ヲ貰ヒマシタノガ、第一營業年度カラ第六營業年度ニ至ル迄、約四百三十七萬圓程ニ相成ツテ居リマス、毎年々々補給金ガ殖エテ參ッテ居リマス、第六營業年度ト申シマスノハ、昨年昭和十七年ノ四月一日カラ九月三十日迄ノ分デゴザイマス、其ノ間只今申上ゲマシタヤウニ四百三十七萬圓ノ配當補給金ヲ得テ收支尻ヲ賄ッテ來テ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ産金會社ノ方ニ於キマシテハ、第一營業年度ニ於キマシテ配當補給金ヲ三十七萬圓ト、ソレカラ第二營業年度ニ於キマシテ十一萬圓ト云フ配當補給金ヲ交付ヲ受ケタノデアリマスガ、其ノ後第三期ヨリ第七期ニ至リマス間ハ補給金ナシデ經理ヲ賄ッテ參ッテ居リマス、ソコデ此ノ昨年ノ一月一日カラ六月三十日迄ノ第八營業期ニ於キマシテ、二百十萬圓ノ配當補給金ヲ受ケルコトニ相成リマシテ、結局産金會社ガ仕事ヲ始メマシタカラ今日迄、政府カラ補給金ヲ受ケマシタ總額ハ約二百六十萬圓程ニ相成ツテ居リマス、尤モ只今申上ゲマシタヤウニ第三期カラ第六期迄ニ補給金ヲ交付ヲ受ケナイデ濟ンダ時代ニ、配當補給金ノ返還ト云フコトモ致シテ居リマスノデ、其ノ返還致シタ額ガ三十四萬圓

程デゴザイマスノデ、二百六十萬圓ノ交付金ノ中カラ三十四萬圓ヲ引キマシタ残りガ現實ニ政府カラ補給ヲ受ケタ金額ト云ツタヤウナコトニ相成リマス、サウ云ツタヤウナ營業成績デゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 只今ノ御説明ニ依リマスト、産金振興株式會社ハ初メノ中ハ政府ノ補給金ガ殆ドナクテ、昨年ノ一月カラ六月ニ至ル營業年度ニ於テハ數百萬圓ノ補給金ヲ受ケナケレバナラナイ、是ハドウモ先程私ガ申シマシタ貸付金ノ利子等ガ入ッテ來ナクナツタト云フコトガ重大ナ原因デハナイカト思フノデアリマスガ、今度合併ニ依リマシテドノ程度ノ補給金ガ増加ニナル御豫想デアリマセウカ、是ハ國家財政ノ上ニモ重要ナ關係ヲ持ツト思ヒマスガ、大體ノ御豫想ハドウ云フ……

○政府委員(津田廣君) 是ハ別ニ豫算ノ方デ出テ居ル譯デアリマスガ、十七年ノ下期ト十八年ノ上期ニ於キマシテ、帝國礦業開發株式會社ト致シマシテ配當補給ヲ要スル額ガ約七百三十六萬圓ト云フコトデ、只今別途豫算ノ形デ御出シ致シテ居ル譯デゴザイマス、此ノ中舊日本産金會社關係ノ分ハ三百二十三萬圓程ニナツテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 合併後ニ政府ノ補給金ガ非常ニ増大スルヤウナ御見込ハナイノデアリマスカ

○政府委員(津田廣君) 今後矢張り帝國礦業株式會社ノ經理ト致シマシテハ、色々低品位礦ノ處理等ヲ致シテ參リマスノデ、此ノ配當補給金ノ金額ハ、見込ト致シマシテハ矢張り若干每期殖エテ行クヤウナ傾向ニナルノデヤナイカト考ヘラレマス

○男爵伊藤文吉君 モウ一ツチヨット同ヒマ

シテ、後ハ又此ノ次ニ致シマセウ、先程ノ政府ノ損失補償金額一億圓ト云フモノハ、帝國礦業株式會社ニ關スル限リドウ云フヤウナ性質ヲ持ツモノデアリマセウカ、ソレハモウ政府ノ出資デモナケレバ、帝國礦業ノ資本金デモナク、全ク損失ノ補償金トシテ消エテシマフヤウナ性質ノモノデアリマセウカ、チヨットソレダケヲ伺ヒマス

○政府委員(椎名悦三郎君) 御説ノ通り全然損失ノ跡始末ニナリマス

○男爵伊藤文吉君 私ノ質問ハ一應是デ……

○子爵大河内正敏君 此ノ帝國礦業開發株式會社ハ、金ノ生産ノ必要ガソレ程ナクナツタ場合ニ於テ、之ヲ合併シテ行クト云フコトハ私ハ適當ナコトダト思フノデス、ソレヨリドウシテモ考ヘナケレバナラヌノハ、重要礦物ノ中ノ、殊ニ鐵礦石ノ問題デアリマス、今日ノ戰局デハ金ハ要ラナクナツデシマツタ、何所カラモ輸入ノ必要ガゴザイマセウ、重要ナ軍需品ヲ輸入スル必要ガゴザイマセウカラ金ガ要ラナクナリマシタ、ケレドモ今度ハソレト反對ニ、非常ニ餘計鐵ガ要ルヤウニナツテ來タノデアリマシテ、色色政府ノ方デモ小型熔鑪爐ノ増設トカ、其ノ他色々鐵、鋼ノ増産ニハ非常ニ力ヲ入レラレテ居ルノデアリマスガ、今度ハ鐵ノ鑛石ノ増産ニ對シテ帝國礦業開發株式會社ガ當然乘リ出シテ、大イニヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ從來生産原價ガ引合ハナイト云フ爲ニ拾テラレテ居ル鐵鑛石ノ鑛山ハ、非常ニ澤山所在ニゴザイマス、鑛量ガ少イトカ、或ハ鑛石其ノモノ、品質ガ惡イトカ、或ハ粉ノ鑛石デアル爲ニ熔鑪爐ニ使ヘナイトカ、ト云フヤ

ウナ色々ナ問題ノ爲ニ拾テラレテ居ル鑛山ガ相當多イノデアリマス、今度ハ從來ノ熔鑪爐ニ使ヘナイ鐵鑛石ト、從來ノ熔鑪爐ニ使ヘナイ石炭、即チ定石トシテ居ル在來ノ製鐵鑛ニ邪魔ニナラナイ資材ヲ以テ鐵鋼ノ増産ガ出來ルナラバ、此ノ際ハ生産原價ト云フモノヲ顧ミズ増産ヲヤラナケレバナラヌト云フコトハ、商工大臣モ御話ガアツタ、議會デハアリマセウガ、外デアツタヤウナ譯デアリマシテ、鐵鋼統制會ノ人達モ皆ソレヲ言ツテ居リマス、サウ云フ時ニ一番コ、デ問題ニナルノハ、サウ云フ鐵鑛石ヲ持ツテ居リナガラ、生産原價ノ爲ニ今迄採掘シ得ナカッタ山ガ相當澤山アリマスノデス、是等ニ對シテハ帝國礦業開發ガ自分デ開發ヲサレルトカ何トカ云フヤウナ御計畫ハゴザイマスデセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(椎名悦三郎君) 只今ノ所ハ、具體的ニ其ノ御計畫ハ帝國礦發トシテハ持ッテ居リマセウ

○子爵大河内正敏君 ドウカ此ノ點ハ希望ニナリマスケレドモ、此ノ際極ク私ハ必要ナコトト思ハレマス、相當澤山此ノ商工省ノ御調ニ依ツテモ未開發ノ鐵鑛石ノ山ガ内地、朝鮮、滿洲、ソレカラ其ノ他ニ於テ相當澤山ゴザイマス、殊ニ内地ハ探鑛ガ行居イテ居リマス爲ニ、サウ云フ山ハ多イノデアリマス、今日ハモウ國民ハ自分ノ家ノ窓ノ鐵棒迄モ外ヅシテ屑鐵トシテ供出シテ居ル時デゴザイマスガ、一方ニ於テ其ノ鐵ヲ造リ得ル鑛石ハ相當ニ方々ニ拾テ、願ミラレズニアル、而モ其ノ鑛石ヲ掘ッテ新シイ製鐵法ヲ茲デ營ム、在來ノ製鐵法ニ依ラザル製鐵法ヲ營ムト云フ場合ニ當リマス、ト

今迄ノモノノ鐵、鋼ノ増産計畫ニ全ク關係ガナイノデアリマスガ、サウシテ鐵、鋼ガ出來テ來ルノデアリマスカラ、此ノ仕事ハ政府トシテハドウシテモ積極的ニヤラナキヤナラス、ソレヲヤリマスルニハ、帝國鑛業開發が大イニ此ノ點ニ向ッテ一ツ 働キ掛ケナキヤナラナイ使命ヲ持ッテ居ルト思ヒマス、勿論斯ウ云フコトヲヤリマスレバ、國家ノ補償金ト云フヤウナモノハソレハ相當ノ額ニナリマスデアリマセウ、併シ今日ハモウ値段ノ問題デハナクシテ、物ガ必要デアル、殊ニ鐵、鋼ガ戰爭遂行上必要デゴザイマスカラ、此ノ點ハ是非早ク一ツ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(椎名悦三郎君) 先程申上ゲマシタヤウニ具體的ニ其ノコトハ考ヘテ居リマセヌガ、御説ハ極メテ御尤モデアリマス、國內ノ斯様な貧乏ノ開發處理ニ付テ必要ガアレバ、損失補償附デ帝國開發ニ受託經營サレテモ宜イト考ヘテ居リマス、何レ研究致シタイト思ッテ居リマス

○子爵大河内正敏君 私ハ宜シウゴザイマス

○大野綠一郎君 先程ノ伊藤男爵カラノ御質問ニ私モ關聯致シマシテ御伺ヒ致シタイノデスガ、今ノ産金振興會社ガ相當ナ貨付ヲ致シマシテ、其ノ中ニ相當ノ程度ノモノハ先ヅ回收不能ノモノガアリ得ルト云フ話デアリマス、ソコデハ意見ニ屬スルカモ知レマセヌガ、矢張り帝國鑛業開發ハ帝國鑛業開發產金振興ハ產金振興デアッテ、産金振興ノ取レナイ債權ヲ帝國鑛業ニ行成リ持ッテ行クト云フヨリモ、一應産金振興會社ノ方デ片ヲ附ケテ、ソレカラ持ッテ行ッテ宜

イヤウナコトハ出來ナイノデアリマセウスカ、ソレハ此ノ頃出來ル會社ガ矢張り責任ノ所在ト云フモノガハッキリシナイノデ、或會社ハ業績ガ良イ、或會社ハ非常ニ惡イ、又雙方惡イノモアリマスルガ、左様ナ會社ヲゴチャ／＼ニシテシマッテ、サウシテ後デ整理ヲスルト云フヤウナヤリ方ヨリモ、一應片ヲ附ケテ、ソレカラクツ付ケテ行ッタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデス、今ノ話ニ依リマスト一億圓ノ損失、ソレハ補償スル、サウ云フ話デアリマスガ、サウシテ帝國鑛業ノ方デハ損失ニ立テベキモノハ特別會計トシテヤル、特別會計ノ意味ガ所謂特別會計デアレバ其ノ損失ガモット過大ニナリマシテ、特別會計タケデハ足リナイ場合ハ、一般會計カラ矢張り補給シナケレバナラナイコトニナル、其ノ場合ニサウ云フコトヲサセズニ、全ク別途會計デ、幾ラ損失ガ出テモ全部政府ガ補給スル、斯ウ云フ趣旨ニ解シテ宜イノデスカ、其ノ點フツ

○政府委員(椎名悦三郎君) 先ヅ第一ノ色色ナ資金上ノ始末ヲシテカラヤッタ宜シクナイカト云フ話デゴザイマスガ、甚ダ手數ガ掛リマシテ、始末ヲシテカラト云フコトニナリマス、其ノ間非常ニ日ニチガ延ビ、兩者ノ合併ヲ成ルベク急イデヤル、サウシテ今後ハ金ト他ノ非鐵金……

○内藤久寛君 高聲ニ願ヒマス、私ハ耳ガ惡イノデ、アナタノ仰ッシャルノハチットモ聞エマセヌ

○政府委員(椎名悦三郎君) 非常ニ其ノ間手數ガ掛ッテ時期ヲ遷延セシムルト云フ懸念カラ、斯様ニ致シタ次第デアリマス、ソレカラ特別會計ノ意味デゴザイマスガ、是ハ仰ッシャルヤウニ全ク別途會計ニシマシテ、

其ノ影響ヲ全然鑛發本來ノ事業ニ及サナイト云フ趣旨デ取扱ヒタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 大方アレデゴザイマスガ、會社ト合併ト云フノハ、御見込デハドレ位掛ッテ出來ルノデゴザイマスガ、成ルベク早イコトガ宜シヤウニ思フノデゴザイマスガ……

○政府委員(津田廣君) 合併ノ登記ヲ致シマスノガ、只今ノ豫定ト致シマシテ四月三十日ト云フコトニ相成ッテ居リマス、新帝國鑛發トシマシテ金ノ仕事ガ始リマスノハ、結局五月カラ正式ニヤルト云フコトデゴザイマスケレドモ、今日ヨリ既ニ此ノ金ノ製鍊ノ問題其ノ他ニ付テ色々準備ヲ致シテ置キマセヌト、ナカ／＼仕事ガ捗ルマイトモ考ヘラレマスノデ、合併前カラ相當鑛發產金共ニ、既ニモウ合併シタト同ジヤウナ心構ヘデ仕事ヲヤッテ貰フヤウニ、只今統制會ト產金會社ト鑛發會社ト、此ノ三社カラ人ガ寄合ヒマシテ、色々整理其ノ他ノ問題ニ付テ研究ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、尙先程伊藤委員ノ御質問ニ御答ヘシマシタ中デ、不十分ノ點ガアリマシタノデ、此ノ際補充致シテ置キタイト思ヒマス、其ノ點ハ附則ノ第三項、四項ノ問題ト致シマシテ、殆ド不要ニ歸スルヤウナ狀態ニナッテ居ルト、斯ウ實ハハッキリ申上ゲテシマヒマシタケレドモ、其ノ點ハ株主ニ關スル限リハ問題ガナクナッタ譯デゴザイマス、尙只今商法上ノ手續ト致シマシテ、債權者ノ異議ノ申立ヲ待ッテ居ルヤウナ狀態デアリマスノデ、此ノ異議申立期間ガ經過致シマセヌト、實ハ此ノ規定ガ本當ニ要ラナクナッタカドウカト云フコトガハッキリシナイノデゴザイマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、尙債權者ノ側

カラノ異議ト云ッタヤウナコトデ、或ハ必要ガ起ラストモ限ラヌ譯デアリマス、其ノ場合ニ此ノ勅令ノ内容トシテハドウ云フコトヲ書ク積リカト云フヤウナ御尋デゴザイマシタガ、此ノ勅令ノ内容ト致シマシテハ、合併ノ條件トカ、商法上ノ手續ニ對シマシテ特例ヲ開イテ、之ノ手續ヲ簡單ニ進メルニ必要ナル規定ヲ設ケルト云ッタヤウナコトガ、此ノ勅令ノ内容ニナラウカト存ジマスガ、只今ノ所此ノ三項、四項ノ規定ハ恐ラク必要ハナイノデヤナイカト考ヘラレテ居リマス

○倉知鐵吉君 我先刻御聽キシタコトニ付テ、チヨット確カメテ置キタイノデアリマスガ、日本産金振興會社ハ結局事實上、法律上ハドウナルカ知レマセヌガ、事實上ハ二ツニ分レテ、内地ニ在ルモノハ帝國鑛業開發會社ニナリ、朝鮮ニ在ルモノハ朝鮮鑛業振興株式會社ト申入ルト云フノガ實際ドラウト思フノデアリマス、先刻私ノ内地ニ付テ御聽キシタコトハ、朝鮮ニ於テモ同ジヤウニ行ハレル積デアリマスカドウカ、ソレダケ一ツ御確カメシタイ

○政府委員(椎名悦三郎君) 朝鮮總督府トモ色々打合セマシテ、大體同ジヤウナ方針デ進ンデ行キタイト云フ風ナ考デ居リマス

○村瀬直養君 チヨット私モ御伺ヒ致シタイ、此ノ法案ノ内容ト直接デハゴザイマセヌ、運用ノ問題ニナリマスガ、從來特殊會社ニ對シマシテハ、政府ノ監督ガ簡單デナイ、即チ二重監督ト云フヤウナ問題ガ起ルト、事業運用ノ上ニ於テ色々支障ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、今度産金會社ヲ合併スルト云フコトニナリマシタ後ニ於テ、帝國鑛業開發株式會社ニ對ス

ル監督權ノ問題ハドシナ風ニナリマスノデ
セウカ

○政府委員(津田廣君) 政府ノ監督ノ點ニ
付キマシテハ、產金會社ヲ鑛發ニ合併致シ
マシテモ、法規的ノ監督ノ仕方ハ從來ト變
リナイコトニ相成ッテ居リマス、唯此ノ產
金會社ノ方ニ於キマシテハ、大藏省側ト商
工省側ノ雙方カラ監督官ガ出テ居ル譯デア
リマシテ、鑛發會社ノ方ハ商工省カラダケ
監督官ガ任命サレテ居ル譯デアリマス、其
ノ點ガ今後金ノ問題ヲ帝國鑛發ガ取扱ッテ
行クト云フコトニナリマス、結局金資金
特別會計ノ金ニ依ッテ賄ッテ行ク仕事ガ相當
多イ譯デアリマスノデ、金ニ關スル限り從
來通り矢張り大藏省カラ帝國鑛發株式會社
ニ監督官ト云フモノガ出マシテ、金ニ關ス
ル點ニ於テ此ノ帝國鑛發ヲ監督シテ行クト
云フ、大藏省ト商工省ノ申合セニ相成ッテ
居リマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ從來
ト運用等ニ付キマシテモ、大シテ只今ノ所
ハ變ッテ點ガゴザイマセス

○村瀨直義君 從來鑛業開發會社ノ方ハ商
工省ノ單獨デヤッテ居リマス、產金ノ方ハ
大藏省ソレカラ朝鮮總督府ト兩方デ以テヤッ
テ居ッテ、非常ニ錯雜シテ居ルヤウニ感ジテ
居ッタノデアリマスガ、今度此ノ產金會社ヲ
合併スルニ付テ、朝鮮ノ問題モ起キテ來ル
カモ知レマセスガ、大藏省トノ關係ニ付テ、
只今御話ノヤウニ產金ニ關スル限りニ於テ監
理官ガ出ルト云フヤウナコトデ、サウスルト
現在ト大シタ變リハナイノカト思ヒマスガ、
唯問題ハ會社ノ仕事トシテハ產金トソレ以
外ノ仕事ト一緒ニヤッテ居リマスノデ、產金
ダケ監督スルト云フ譯ニモ實ハ行カナイノ
デヤナイカト思フノデアリマスガ、其ノ大

藏省ト商工省トノ間ニ、モウ少シハッキリ
シタ分界ト云フモノガ決ッテ居リマスカ、例
ヘバ役員ノ選任トカ、サウ云フヤウナモノ
ニ付テ、產金ダケト云フ譯ニハ行カナイト
思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ成
ルベク監督權ヲ簡單ニスルト云フヤウナ趣
旨デ、ハッキリ何カ決メテ置ク必要ガアル
ノデヤナイカト思フノデアリマスガ……

○政府委員(津田廣君) 產金會社ノ方ニ於
キマシテハ、大藏省ト商工省ノ共管ト云フコ
トニ相成ッテ居ッタノデアリマスガ、今後は
帝國鑛業開發株式會社ノ方ニ合併相成リ
マシタ以後ハ、帝國鑛業開發株式會社ト云
フモノハ從來通り商工省ノ專管ト云フコト
ニ相成リ譯デアリマス、其ノ點ガマア變ル
ト言ヘバ、金ノ問題ニ付キマシテ變ッテ點ナ
ノデアリマスガ、今御話ノヤウニ監督官ハ
金ニ關スル限り大藏省カラ出ルト云フコト
デアリマスノデ、實際上從來通りノヤウナ
形ニ相成リマスルケレドモ、今後帝國鑛業
開發株式會社其ノモノハ何處迄モ商工省ガ
專管ト云フコトデ、成ルベク雙方ノ協議等
デ、餘リ問題ヲ起シテ仕事ガ進マナイト云
フヤウナコトノナイヤウニ氣ヲ付ケテ仕事
ヲヤッテ行キタイト、斯ウ考ヘテ居リマス
○村瀨直義君 例ヘバ其ノ役員ノ選任ノヤ
ウナ問題デスガ、是ハ不可分のナモノノヤ
ウニ思ヒマスガ、サウ云フ點ハドウナルノ
デアリマセウカ、其ノ外色々サウ云フ不可
分のナモノガアルノデヤナイカト思フノデ
スガ……

○政府委員(椎名悅三郎君) 所管ノ競合ト
云フヤウナコトハ、御話ノ通り誠ニ行政事
務運行上敏活圓滑ヲ缺キマシテ、延イテ業
界ニ非常ナ御迷惑ヲ掛ケルヤウナコトニナ
リ勝テデアリマス、只今申上ゲマシタヤウ
ニ、日本產金ハ從來商工、大藏共管ト云フ
コトニナッテ居リマシタガ、役員ノ選任等
ニ付キマシテモ、是ハ正式ノ會議、其ノ他
ノ重要事項ニ付キマシテモ全部合議ト云フ
コトニナッテ居リマス、是ガ帝國鑛發ニ吸收
合併セラレマス曉ニ於テハ、帝國鑛發其ノ
モノハ商工省ノ專管ト云フコトニナリマス
カラ、唯金資金特別會計カラ金ノ山ノ整理
ノ問題デアリマス、サウ云ッテヤウナ
事柄ニ要スル資金ハ金資金特別會計カラ一
切之ヲ賄ッテ貰ッテ、ソレデ致シマシテ、社
債拂込等ノ手續ニ依ラナイ、別ニモウ別途
會計トシテヤル、斯ウ云ッテヤウナコトニ
ナッテ居リマス、從ッテ大藏省トノ關聯モ非
常ニゴザイマスノデ、其ノ點ノ問題ヲ專ラ
處理サセル爲ニ、大藏省ノ方カラ監督官ヲ
任命スルト云フコトニナッテ居リマス、後
ハ同一鑛床ノ中ニ金モ出レバ銅モ出ル、之
ヲ全體ヲドウ處理スルカト云フヤウナ場
合ニ、飽ク迄金ニ關スル限りハは大藏省
ノ所管トシテ、一々サウ云フ實體ノ問題ニ
付テ協議スルトカ云フヤウナコトハ勿論
アルマイト存ズルノデアリマス、成ルベク
サウ云フ點ハ十分ニ兩者トモ自肅シマシ
テ、各責任分野ヲ明カニシテ、圓滑ニ事務
ヲ處理シテ行キタイト考ヘテ居リマス
○村瀨直義君 ソレカラモウ一ツデアリマ
スガ、今般產金振興會社ヲ合併致シマスル
ニ付テ、先程御質問ガゴザイマシタヤウ
ニ、產金振興會社ハ内地ト朝鮮ト兩方ヲ目
的トシテ居ッタ、鑛發會社ハ内地ダケヲ目
的トシテ居ッタ、サウ云フ關係カラ產金會
社ヲ合併致シマスルト、一時鑛發會社ノマ
ア法律上ノ區域ト申シマスカ、ソレハマア

朝鮮ノ方ニ及バス譯デスネ、然ル後ニ適當
ナ時期ニ於テ鑛發會社ノ中カラ、營業讓渡
ノヤウナ形デ以テ朝鮮ノ振興會社ノ方ニ朝
鮮ニ於ケル產金ニ關スル部分ダケ讓渡スル
ト云フカ、何カ非常ニ複雜ナヤウナ形ニナ
テ居リマスガ、サウ云フコトヲ質問致シ
マスル所以ノモノハ、何カ此ノ案ヲ御作リ
ニナリマスル場合ニ、マア事業ヲ綜合的ニ
ヤッテ行ク技術家ノ活用トカ、色々ナ關係
ニ於テ綜合的ニヤッテ行クノガ適當デア
ルノデヤナイカト考ヘマス、サウ云フ意
味ニ於キマシテ帝國鑛發ト朝鮮ノ鑛業振興
會社デアリマス、サウ云フモノヲ此ノ際
合併シテ全體ヲ一ツニシテ、綜合的ニ内地ト
朝鮮ト恰モ產金會社ノヤッテ居ッタヤウニ
ヤッテ行ク方ガ此ノ機會トシテハ宜イノデ
ヤナイカト云フ感ジガ致シマス、尤モサウ
云フ風ニ致シマス、内地ト朝鮮總督府トノ
關係デハ色々ノムヅカシイ問題ガ起ルカモ
知レマセス、併シ今般政府ニ於キマシテハ、
内外地行政一元化ト云フコトモ實行サレテ
居ルノデアリマス、企業ノ合理的ナ經
營ト云フヤウナ見解カラソコ迄何カ御考ヘ
ニナッタコトハゴザイマセスノデセウカ
○政府委員(津田廣君) 御話ノヤウニ此ノ
產金會社ヲ鑛發ニ合併致シマスニ付キマシ
テハ、從來金ノ問題ヲ產金會社ガ朝鮮内地
ヲ通ジマシテ一元的ニ仕事ヲヤッテ居リマ
シタノデ、此ノ機會ニ帝國鑛業開發會社ト
致シマシテモ、金ノ問題ト併セマシテ金以
外ノ鑛物ト云ッテヤウナモノヲ、朝鮮内地一
元的ニ仕事ヲシテ行クト云フコトガ、色々
ノ意味ニ於キマシテ必要デヤナイカト云フ
コトヲ十分考慮ニ入レテ居ッタ次第デア
リマス、併シナガラ何分ニモ此ノ當面ノ問題

ニナッテ居リマスル金ノ問題ノ整理ト云フコトガ主ニナッテ居リマシテ、而モ此ノ整理ノ仕事ハ早ク片付ケナイト色々他ノ産業ニ及ス影響ト云ツタヤウナコトモ、面白クナイ影響ヲ與ヘルト云フヤウナコトモアリマスノデ、急速ニ此ノ金ノ後始末ノ仕事ヲヤルニハ、矢張り是ハ朝鮮ハ朝鮮トシテ獨自ノ産金事情ト云フヤウナモノニ對スル朝鮮側ノ意圖モゴザイマスシ、又朝鮮デ行ハレテ居リマスル産金事業、内地ニ於テ行ハレテ居リマスル産金事業ト云ツタヤウナ點ニ若干相違モゴザイマスノデ、旁、此ノ際ハ寧ろ朝鮮ヲ切離シテ、金ノ問題ヲ處理シ易イヤウニシテ置イタ方宜クハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ日本産金振興會社ノ朝鮮ニ關スル部分ヲ帝國鑛發ハ切離シテ仕事ヲ引繼グト云フコトニ致シタイト、斯ウ考ヘタ次第アリマス、尤モ其ノ朝鮮ノ事業ヲ内地ノ事業カラ分離致シマスル手續ト致シマシテハ、是亦實ハ今日迄日本産金振興株式會社ト云フモノハ朝鮮内地ヲ通ジテノ一元の會社デアリマシテ、雙方睨ミ合シテ一ツノ仕事ヲシテ居タト云フコトデアリマスガ、實ハ朝鮮側ニハ、法律ノ規定ニゴザイマスヤウニ支店ヲ京城府ニ置クト云フ規定ガ第二條ニゴザイマシテ、此ノ規定ニ依ッテ實ハ朝鮮側ノ支社ト云フモノガ内地ノ本社ト可ナリ分離シタ形デズト存在シテ居リマシタノデ、此ノトコロ朝鮮ト内地ヲ分離スル色々手續ハ比較的簡單ナノデアリマス、併シ一應形ト致シマシテハ、日本産金振興株式會社ノ資産ハ一應帝國鑛發ニ引繼ギマシテ、引繼イダ後朝鮮側ノ分ダケ其ノ資産ヲ切離スト云フ、斯ウ云フマア形ヲ採ッテ譯デゴザイマス、是ハ先程申上

ゲマシタヤウニ、ドチラガ迅速ニヤリ宜イカト云フ點ニ於キマシテノ考慮ノ結果、早クヤラウト云フ意味デ斯ウ云フ形ヲ採ッテ居ル譯デゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 今度法律ガ改正ニナリマシテ新シク踏ミ出ス帝國鑛業開發株式會社ノ經營方針ニ付テハ、今度新シク鑛業及製鍊業ノ整備ト云フ仕事ガアリマスカラ、斯ウ云フ時勢ニ鑑ミテ、經營方針ノ刷新ト申シマスガ、方法ヲ變ヘテ行クト云フヤウナ御考ガアルノデアリマセウカ、其ノ邊ハ從來通り、今度産金振興會社ヲ合併シテ金ノ事業ヲ整備スルト云フヤウナ程度ニ過ギナイノデアリマセウカ、御抱負ト申シマスカ御經綸ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(椎名悦三郎君) 御承知ノ通り軍需資材ノ生産増強ハ目下ノ急務デアリマシテ、從ッテ時局ノ要請ハ一層從來ヨリモ帝國鑛業開發株式會社ノ雙肩ニ懸ッテ來テ居ルト思ヒマス、從ッテ國內ノ斯様ナ重要鑛物ノ増産ノ實務ヲ實行致シマス爲ニ、帝國鑛發トシテモ昔ニ數倍スル仕事ヲ背負ッテ毎日努力シテ居ルヤウナ譯デアリマス、今後ハ一層國內ノ重要鑛物増産ノ爲ニ、或ハ直接經營、或ハ助成指導ト云フ方面ニ活潑ナル機能ヲ發揮サセルヤウニ、有ラユル施策ヲ擬ラシテ行カナレバナラスト様ニ考ヘテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 只今質問シタノハ、今ノ政府委員ノ御話ノ通りニ、此ノ時局ニ非常ニ活潑ニ一ツ働イテ貰ヒタイト云フ、先程大河内委員ノ御話ノヤウニ、鐵ノ問題モ重大デ、内外地ニ於ケル鐵鑛石ノ供給ハ幾ラ多クテモ多々益、辨ズルノデアリマス、ドウモ從來帝國鑛業開發ハ、低品位ノ山ヲ育

テ上ゲルトカ、或ハ弱小ノ山ニ金ヲ貸シテヤルトカ、是ハ結構ナ事デアリマスガ、斯ウ云フ際デアリマスカラ、モウ少シ積極的ニ探鍊資金ノ融通モスルトカ、其ノ方面ノ指導モスルトカ、又重點的ニ、非常ニ良イ山ガ見付カッタト云フ場合ニハ進ンデ重點主義ニ投資スルト云フヤウナ方面ニ經營方針ヲ進メラレテハドウカト云フコトヲ考ヘマシテ、只今御質問申上ゲタノデアリマスルガ、政府委員ノ御答デハ、時局下ニ於テ大イニヤルノダト云フ御言葉ヲ承リマシテハ、私ハ満足スルノデアリマス、ソレカラハハドウモ私ハ鑛山統制會ノ責任者ノ立場デチヨット質問ヲシニクイノデアリマスルガ、帝國鑛業開發株式會社ハ國策會社デアリマスルカラ、其ノ資金關係トカ經理ノ關係ニ於テ政府ガ監督モシ、立入ラレルコトハ無論デアリマスルガ、資材トカ勞務トカト云フモノヲ全然別扱ヒニサレルヤウナ御方針ハドウカト思フノデアリマス、ト申シマスルノハ、國策會社ト申シマシテモ、是ハ偶、政府ノ資金ガ出タト云フコトデ、仕事ノ上ニ於テハ他ノ鑛山會社モ矢張り重要ナル鑛物ヲ出シテ居ルノデアリマス、經理トカ或ハ資金ノ問題ニ付テ政府ガ立入ラレルコトハ無論當然ノコトト思ヒマスルケレドモ、其ノ他ノ資材、勞務等ニ付テ特別ノ扱ヒヲサレルト云フコトハ、是ハ二元統制ニナルノデヤナイカ、今朝程モ伍堂卓雄氏ノ質問デ、總理大臣並ニ岸商工大臣ハハッキリト、曩ニ政府デ決メマシタ經濟體制ヲ堅持シテ行クンダト云フ御話デアリマスガ、ドウモ行政上ノ扱ヒト申シマスルカニ於テ稍、不徹底ナ所モアルヤウニ思ハレルノデアリマス、詰リソコニ足並ノ亂レ

ルヤウナ點ガナイデハナイト思フノデアリマス、マア大キナ言葉、言ヘバ政治ト行政ガ足並ガ揃ハナイト云フヤウナコトガ、統制經濟ノ上ニ何等カノ暗影ヲソコニ映出スルヤウニ思ハレルノデアリマス、此ノ點ハ當局トシテハ、是ハ政府ノ國策機關ダ、特殊ノ機關ダト云フヤウニ御考ニナルドウモ傾向ナンデスケレドモ、其ノ分野ハ自ラ決ッテ居ナクチャナラヌト思フ、矢張り是ハ鑛山統制會ナラ鑛山統制會ノ出來タ時ハ、此ノ部分ハ統制會ニヤラスベキダト云フヤウナ分野モアルノデヤナイカト思フ、ソレガ從來通りニアレバ、ソレヲ一ツ御考ニナッテ然ルベキデハナイカト思フ點モアルノデアリマス、御承知ノヤウニ此ノ頃ハ外國貿易モアリマセヌヤウニナリマシタガ、輸入鑛石ノ賣買ノ如キハ、是ハ鑛山統制會ガ出來レバ、此ノ系統デ矢張りヤラナレバナラヌノデヤナイカト思フ 仕事デモアリマス、又試料採取場ノ經營、斯ウ云フモノモ、是ハ鑛山統制會ガ出來ル以前ハ兎モ角モ、今後ニ於テハ斯ウ云フ問題モ矢張り新シイ機關ガ出來タ時ニハ御考ニナッテ戴クト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ一ツ伺ヒマス

○政府委員(椎名悦三郎君) 鑛山統制會ト帝國鑛業開發株式會社トノ關係ニ付キマシテハ、誠ニ一々御尤モデアリマス、既ニ鐵鋼ニ付テモ見ラル、通り、日鐵ハ國策會社デアリマス、而モ尙鐵鋼統制會ノ一員トシテ全ク其ノ大綱のナ統制ニ服シテ居ルト云フ現状デアリマシテ、鑛山統制會ノ成立後ニ於キマシテハ、勿論帝國鑛發ハ其ノ一「メンバ」トシテ他ノ鑛山會社ト同様ニ其ノ傘下ニ立ツベキモノデアアルコトハ、是ハ一點疑ヒナイ

ノデアリマス、而シテ資材、勞務其ノ他ノ生産要素ノ問題ハ、大體統制會ヲ中心ニシテ之ヲ具體的ニ處理セシムルコト云フコトニナリ居ルデアリマス、其ノ帝國鑛業開發會社ガ其ノ例外的ナ取扱ヲ受ケルト云フコトハ、私ハ毫モ考ヘテ居リマセス、統制會ノ方デ其ノ問題ハ御遠慮ナク差配サレテ一向差支ナイ、又左様ニ御願ヒシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、外國鑛石ノ取扱デゴザイマスルガ、是ハ今御説ノ如ク、鑛山統制會成立前ニ帝國鑛發ノ仕事トシテ認メテ居タ譯デアリマス、鑛山統制會成立ノ今日ニ於キマシテ斯様ナモノハ當然統制會ノ仕事トシテヤルベキデハナイカト云フ御説ニ對シマシテハ、全然根本ノ趣旨ニ於テハ異論ハナイノデアリマス、適當ノ機會ニ於テ其ノ點ハ具體的ニ考ヘテ行キタイト思ヒマス

○子爵大河内正敏君 只今ノ御質問ニ關聯シマシテ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマスノハ、帝國鑛業開發株式會社ノ營業ニ於キマシテ、鑛石ノ賣買ト云フヤウナコトガ今日ハ必要デハナイカト思ヒマス、而シテ其ノ賣買ハ、利潤ヲ追及スル爲ノ賣買ニ非ズシテ、生産ヲ目指ス賣買デアリマス、ソレハ例ヘバ最モ必要ナ銅、赤金デゴザイマス、銅ノ鑛山ニ於ケル採算狀況ヲ見マシテモ、最近ニ於テ著シク是ガ惡クナッテ參リマシテ、今日ノ銅ノ價格デハ其ノ鑛石ヲ製鍊ヲシタノデハドウシテモ缺損ニナル、赤ニナルノデアリマス、是ハ鑛山統制會等ノ御調ヲ私ハ洩レ承タノデアリマシテ、事實デアルト思フノデアリマス、今迄ハ多少利益ヲ上ゲテ居リマシタ鑛山デモ、最近ニ至ッテハ非常ニ惡化シテ參リマシテ、適當ナ利

潤モ得ラレナイト云フコトニナリマススト云フト、是ハ鑛山ガ採掘ガ不能ナ價格ニナッテシマフ、鑛石ガ例ヘバ値段ガ公定サレテ居ルトカ、或ハ其ノ鑛石ヲ以テ製鍊ヲシタモノノ價格ガ公定サレテ居リマススト云フト、結局鑛石價格ト云フモノヲサウ上ゲルコトハ出來マセヌカラ、ソレデハ採算ガ取レナイ、採算ガ取レナイモノハ小サナ鑛業者ハドンノ休鑛スル以外ニ途ハナイノデアリマス、今迄モ銅ニ關シテハ大分休鑛ヲシタ山ガ、是ハ今ニ始マッタコトデハゴザイマセヌ、二三年前カラ相當ニアツタと思ヒマスノデスガ、斯ウ云フ場合ニ、何トカシテ原價計算ヲ十分ニヤリマスナラバ、此ノ山ガ是ダケノ「コスト」ガ掛ッテ居ル、ソレハ技術ノ惡イト云フ點モアリマセウガ、大體ニ於テ資本ガナイ爲ニ設備ガ不完全デアアル、又山其ノモノガ餘リ良好ナ鑛山デナイ、立地條件等カラシテ生産原價ガ高クナッテ居ル、是ハ相當ノ期間ヲ掘ルカ、又設備ノ改善スルカスレバ多少引合ッテ來ルト云フ見込モゴザイマセウ、併シ今日ハ殆ど全國ノ銅山ト云フモノガ例ヘバ採算ガ取レナイト云フヤウナ狀況デゴザイマスカラ、ソレヲ何時モ後カラ後カラ補償金トカ何トカ色々ナ政府ガ支出スルルコト云フ制度デ行キマシタノデハ、間ニ合ハナクナル、鑛山ハ御承知ノ通り止メマススト、後デ之ヲ再ビ掘リ始メルト云フコトハ、非常ナ困難ガゴザイマスカラ、出來ルダケ休マズニ採掘ヲシテ行カケレバナラナイノデアリマス、其ノ場合ニ若シ帝國鑛業開發ト云フヤウナモノガサウ云フ山カラ損失ヲ見込シデ鑛石ヲ買フノデアリマス、即チ利潤ヲ目的トセザル營業ト申シタノハ其ノ點デアリマ

シテ、ドウシテモ此ノ鑛山ハ是ダケ生産原價ガ掛ッテ居ルカラ、是ダケ買ッテ行カケレバ、仕事ヲ繼續スルコトガ出來ナイト云フコトガ、明ニ鑛山統制會等トモ連繫ヲ取ッテ調ベマスナラバ、必ズソレガ正確ニ分ルト思ヒマス、其ノ値段デ、採掘ノ繼續出來ル値段デ帝國開發ガ買ヒマシテ、サウシテ之ヲ製鍊業者、或ハ其ノ他ニ、製鍊業者其ノ者モ又引合フ値段デ賣渡シタル、即チ茲ニ損失ガ起リマス、其ノ損失ハ國家ガ補償シナケレバナラナイト云フヤウナ式ニシテ、今日ノ事態ニ於キマシテハ利潤ヲ目指ス營業ニ非ズシテ、生産ヲ目指ス營業ト云フコトヲヤレルヤウニナラナイデゴザイマセウカ、今日ノ此ノ鑛業開發法ヲ改正セザル限リサウ云フコトハ出來ナイノデゴザイマセウカ、チヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(椎名悅三郎君) 只今ノ御説ハ二ツニ分チテ御答ヘシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、第一ハ帝國鑛業開發會社ガ左様ナコトガ現行法律ノ儘デヤレルカドウカト云フ問題デアリマス、是ハ法律ヲ變ヘヌデモヤラウト思ヘバヤレルト思ヒマス、ソレカラ第二ハ、例ヘバ銅等ニ付テハ御話ノ通りナカノ損失補償デハイカス、段々山ノ狀況モ變ッテ來ル、新シイ山ヲ開發スレバ、低品位ノモノシカ手ヲ附ケル餘地シカナイト云フコトデ、ヤッタ後ニ於テ補償政策ヲ執ルト云フコトハ何トナク勇氣ヲ沮喪サセルカラ、兎ニ角明瞭ニ掛ッダケ、モウ事柄ガ明瞭ニナッテ居ル、原價計算ヲ適正明瞭ニシテ、ソレニ適正ナ利潤ヲ加算シテ買取ッラドウカト云フ實質論ノ問題デアリマス、是ハ實ニ物價政策ニ關スル根本ノ新シイ提案ト申シマスカ、御方針デアルト拜承スル

ノデアリマス、今日ハ物ガアッデノ値段デアアル、物ガナケレバ値段ト云フコトモ考ヘテ見タ處ガ何ニモナラヌ、兎ニ角重要資源ハ其ノ價如何ヲ問ヘズ、兎ニ角生産ヲ増強シナケレバナラヌト云フ時代デアリマスルノデ、從ッテソレニ適應スル物價政策トシテモハ御説ノ如キ方法ヲ物ニ依ッテハ執ッテ行カケレバナラヌノカトモ考ヘテ居リマスガ、併シ事柄ハ物價政策ニ關スル根本ノ方針ニ關シマスルコトデアリマシテ、此ノ際私カラハッキリ申上ゲルコトガ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ジマス、御意見ノ點ハ十分ニ研究シテ見タイト思ッテ居リマス

○政府委員(津田廣君) チヨット私補充致シテ置キタイト思ヒマス、先程次官カラモ、帝國鑛發ノ方デ鑛石ヲ買ヒ取ル場合ニ「コスト」ノ非常ニ高ク付イテ居ル鑛山ニ付テハ、特ニ考慮ガ出來ルト云フコトヲ御答辯申上ゲマシタガ、其ノ點ニ付キマシテ、豫算關係ノコトヲチヨット申上ゲテ置キタイト思ヒマス、十八年度ノ豫算ト致シマシテ……豫算外契約デゴザイマスガ約二百二十四萬圓程計上致シマシテ、帝國鑛發ガ只今經營致シテ居リマスル三箇所ノ中央選鑛所ニ於キマシテ買ヒ取ル鑛石ニ付テ、可成リ買鑛條件ヲ低下スル、結局鑛石ヲ賣ル方ノ側ニ有利ナヤウニ若干高ク買ッテ居ルト云フコトニ依ッテ帝國鑛發ガ損失ヲ蒙タ場合ニハ、二百二十四萬圓ノ限度ニ於テ補償シタルト云フ制度ヲ認メルコトニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、其ノ點チヨット補充致シテ置キマス

○子爵大河内正敏君 只今銅ニ付テ申上ゲマシタガ、無論銅バカリデハナイノデアリマシテ、超重要産業ニ對スル問題モ同様ナ

コトガアルト思ヒマス、例ヘバ輕金屬ノ鑛石問題、殊ニ「アルミニウム」ノ鑛石ノ問題デアルトカ、或ハ錫、亞鉛ト云フヤウナ色々ナ金屬類モアル譯デアリマス、殊ニ鐵ナドモ先程申上ゲタ通りデアリマシテ、帝國鑛業開發ガ自身デ山ヲ經營スルカ、或ハ生産原價ヲ調査シテ是ダケナラ何時デモ鑛石ヲ買ツテヤル、サウシテ其ノ鑛石ハ何處ヘ納メロ、ドノ製鐵所ヘ納メロト云フコトヲ間ニ入ッテヤツテヤル、サウ云フコトガ必要デアルト私ハ思ヒマスガソレデヤリマスト、今御話ノヤウナ二百數十萬圓ノヤウナ損失補償デハナカ／＼容易ニ行ハレナイト思ヒマス、何トカシテ之ヲモウ少シ限度ヲ上ゲマシテ、鑛山業者ガドン／＼仕事ヲ繼續シテ行クコトノ出來ルヤウニスルカ、或ハ帝國開發自身ガ其ノ山ヲ經營スルト云フヤウナコトヲヤリマセスト、重要ナ物資ガドウシテモ出デ來ナクナル、是ハ少シ餘計ナ話ノヤウデアリマスガ、今日ノ生産ノ問題デハ、原料ノ公定價格ガ一番先ニ決マリマシタ、例ヘバ鐵デアリマストカ、銅デアリマストカ云フヤウナモノノ價格ガ一番先ニ決マリマシテ、ソレヲ使ツタ製品ノ價格ト云フモノハ後ニナツテ決マツテ參リマシタ、サウシテ原料ガ高クナルト製品ガ高クナルト云フ考ヘカラ、原料ノ値段ヲ極力抑ヘ、製品ノ方ノ値段ハ餘リ抑ヘラレナイ、ソコニ非常ナ開キガアリマス、直接私ハ機械ノ統制會ニ關係シテ居リマス上カラ、原價計算其ノ他ヲ調べテ見マスルト、鐵ノ値段ガ二割ヲ三割上ツテモ、チットモ機械ノ値段ヲ上ゲズニ生産ガ出來ルト云フ事實ヲ澤山發見致シテ居リマス、是ハ外ノコトデアリマシガ、要スルニ原料ノ生産ト云フコトガ此

ノ際一番必要ダ、其ノ生産ヲ促進スル爲ニ、
物價ヲ上ゲト云フノデハ決シテナイ、低
物價ヲ維持スルト云フコトハ飽ク迄堅持シ
ナケレバナラスガ、生産不能ノ物價デハソ
レハ低物價デハナイ、今日ハ物が大切デア
リマスカラ、低物價デ置クコトニ必要デア
ルガ、生産不能ノ物價ニ置クコトニハ最
モ避ケナケレバナラスト云フヤウナコトカ
ラ致シマシテ、何トカ其ノ間ノ便法ヲ一ツ是
非御考慮ヲ願ヒタイ、殊ニ重要ナ鑛物、金
屬等ノ鑛山ニ對シマシテハ、是ニ止メルト
後、ガ出ナクナルノデアリマスカラ、非常ニ
早ク御心配ヲ願ハナケレバナラヌ問題ダト
思ヒマス、此ノ點ヲ特ニ御願ヒヲシタイト
思ヒマス、是レデ私ノ質問ヲ終リマス

○男爵伊藤一郎君 重要礦物ノ増産竝ニ鑛業及製鍊業ノ整備促進、經營能率ノ増進ノ爲ニ、日本産金振興株式會社ノ内地關係ノ事業ヲ帝國鑛業開發株式會社ヲシテ一元化ニ行ハシメルト云フ此ノ趣旨ハ誠ニ結構デスガ、現在ノ東北興業株式會社ノ中ニアル鑛業部、是モ同一ノ使命ヲ帶ビテ今仕事ヲシテ居リマスガ、其ノ會社ノ鑛業部ノ事業モ此ノ際帝國鑛發ニ併合シテシマッタラドウカト思ヒマス、サウシテ一貫事業ヲ行ハシメル方ガ本案ノ趣旨モ徹底シテ、現在ノ我國ノ鑛業開發ノ實情ニ副フモノト考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(椎名悦三郎君) 東北興業株式會社ノ中ニアル鑛業部ノ仕事ト帝國鑛發ノ仕事ハ、御説ノ如ク非常ニ似寄ッテ居リマス、東北地方所在ノ金屬山等ニ對シテ此ノ二社ガ共同デ指導シ、或ハ投資ヲシテ居ルト云フヤウナ事例モ害ハアルノデアリマス、併シ一應兎ニ角東北興業會社トシテハ、特ニ

東北地方ノ開發ノ爲ニ鑛山其ノ他ノ鑛業ノ振興ヲ職分トシテ生レ、尙今日繼續シテヤツテ居ルワケデアリマシテ、事柄ハ大變似タコトヲヤツテテ居リマスガ、是レアルガ爲ニ帝國鑛發ノ全國的ナ鑛業上ノ振興ニ特ニ支障ガアルト云フヤウナコトモ實ハアリマセヌ、只今申上ゲマシタヤウニ東北興業ノ使命ヲ遂行スル立場、ソレカラ日本國內ノ鑛山業ノ振興ヲ助成スル立場、是ガ偶、一緒ニナリマスト共同デ之ヲ指導シ援助シテ居ルト云フヤウナ關係ニナリマスノデ、特ニ此ノ際一ツニシナケレバ非常ニ其處ニ摩擦、相剋摩擦ガ起ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌノデゴザイマス

○男爵伊藤一郎君 ソレデヤモウ一ツ此ノ重要鑛物ハ現下ノ情勢ニ於テモ徹底的ニ増産ヲ圖ル必要ガアルコトハ勿論デアリマシテ、政府ガ此ノ方法トシテ價格ノ改正ダトカ、其ノ他色々考究セラレツ、アルモノ思ヒマスルガ、此ノ改正案ニ付テ帝國鑛發ヲシテ一層其ノ重要ナル任務ヲ命ゼラレルヤウナ意思ガアルヤウニ見エマスケレドモ、其ノ増産對策ノ一方法トシテ現在會社ガ行ツテ居ル所ノ委託經營ニ依ル損失補償制度ヲ更ニ擴大セラレルヤウナ御意思ガアリマセヌカ、又先程モ御話ガアツタコト同ジヤウナコトデスケレドモ、國內ノ重要鑛物ノ一手買取ヲスルトカ、或ハ此ノ改正案ノ理由書ニ示サレテアル所ノ鑛業及製鍊業ノ整備ヲ國家目的ニ活用シテ、此ノ際進ンデ製鍊業ヲモ同會社ヲシテ一任セシメル、サウシテ原鑛或ハ色々ナ材料ノ運輸ノ合理化デアルトカ、操業ノ能率増進ヲ圖リ、併セテ之ガ一元的取扱ニ依ツテ増産目的遂行ノ爲ニ補償制度ヲ制定スルト云フヤウナ、新規方法ニ

付テオヤリニナルヤウナ御考ハゴザイマセ
ヌカ

○政府委員(椎名悅三郎君) 今年此ノ議會ニ御提案申上ゲテ居リマスル帝國鑛發ノ損失補償金ハ二千五百五十四萬圓、是ハ前年度ノ丁度倍ニナツテ居リマスノデアリマシテ、此ノ豫算ニモ示サレテアル如ク、帝國鑛發ノ今後ノ事業ノ進展擴大ト云フコトヲ豫想致シマシテ、之ニ伴フ金額ヲ計上シテ居ル譯デゴザイマス、尙其ノ他重要鑛物ノ買取ノ方策、或ハ又製鍊設備ノ一元の統合ト云フヤウナ御説デアリマス、時局下ニ於テハ追、サウ云フコトヲ考ヘナケレバナラストモ思ハレルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ鑛山統制會ヲ中心ニシテ實際ニ即シタ、而モ有效適切ナル具體方策ノ結論ヲ得マシテ、逐次實施シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○男爵伊藤一郎君 ソレカラ此ノ今ノ會社ノ金利ノ問題デスガ、此ノ貸出事業資金ノ金利デスガ、今社債ガ四分五厘ダサウデスケレドモ、四分五厘ノ關係上少クトモ五分、相手ニ依ッテハ六分以上、六分五厘以上デ貸出ラシナケレバナラスカト思ヒマスガ、少シ高イト云フヤウナコトヲ言フ者ガアルノデスガ、如何デセウカ、モウ少シ安イ方法デ貸シ得ルヤウナ方法ガアリマセスカ

○政府委員(津田廣君)　日本產金會社ナリ帝國鑛發ノ貸出利率ガ比較的高イデヤナイカト云フ御話ヘ前々カラチヨイヘ耳ニ致スノデアリマスガ、實際此ノ利率其ノモノカラ見マスト、普通銀行ガ四分乃至五分ト云フヤウナ率ニ對シテ、國策會社ノ方ハ五分乃至七分ト云ツタヤウナ所デ、率其ノモノカラ比較シテ見マスト、相當高イヤウニ見

エルノデアリマス、併シナガラ實際ニ其ノ
内容ヲ檢討致シテ見マスルト、普通銀行ノ
方ニ於キマシテハ運轉資金ト云フヤウナモ
ノニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、長期ノ
固定資金ト云フヤウナ貸出ハ行ハレテ居ラ
ヌ譯デアリマスシ、尙又日本興業銀行等ニ
於キマシテモ、國策會社ヨリ稍、率ガ低イヤ
ウニ見受ケラレタリ致シテ居リマスガ、是
亦貸出ノ實際ヲ見マスルト、可ナリ擔保物
ニ對シテ内輪ナ金融ノ仕方ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、然ルニ此ノ國策會社ノ方ニ於
キマシテハ、擔保一パイニ近イ金融ヲシテ
居ルト云ツタヤウナ關係ガゴザイマシテ、
唯一分高イトカ二分高イトカ云フ其ノ數字
ダケデハ言ハレナイ、内容ノ方ヲ御檢討願
ヒ、考慮シテ戴キマシタ場合ニ於テハ、此
ノ國策會社ノ貸出利率ト云フモノハ、實質
的ニハ必ズシモ高クナツテナイ、斯ウ考ヘ
ラレルノデアリマス、殊ニ國策會社デ金融
致シマスル其ノ對象トナルモノハ、殆ド他
ノ銀行等ニ於キマシテハ貸出ノ對象ニシテ
吳レナイ、相手ニシテ吳レナイト云フヤウ
ナモノヲ、特ニ引受ケテ金ヲ貸シテヤルト
云フヤウナ事情モゴザイマスノデ、ソレ等
ノ點ヲ併セテ御考ヘ願ヒマシタナラバ、必
ズシモ此ノ一分二分利率其ノモノガ上ツテ
居ルト云フコトガ、實質的ニ矢張り利率ガ
高イノダト云フコトニハナラナイノデヤナ
イカ、斯ウ考ヘラレルノデアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) チョット速記
ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メ
テ……本日ハ委員會ハ此ノ程度ニ於テ散會
致シマス、次會ハ明後三日午後一時三十分

ヨリ開會致シマス

午後三時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵伊藤 一郎君
委員

侯爵嵯峨 實勝君
子爵大河内正敏君
子爵柳澤 光治君
大野綠 一郎君
男爵伊藤 文吉君
村瀨 直養君
男爵宮原 旭君
倉知 鐵吉君
結城 安次君
内藤 久寬君
瀧川 儀作君
大西虎之介君
永瀨 寅吉君

政府委員

大藏省監理局長 相馬 敏夫君
商工次官 椎名悅三郎君
商工省金屬局長 津田 廣君

昭和十八年二月一日印刷

昭和十八年二月一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局